



鳥羽市は「自ら学び心豊かにたくましく生きようとする人間の育成」を目標としています

# とばし教育番組ひだより

2017.4.1 第10号



## 鳥羽の子どもたち集まれ！～子どもフェスティバル～

3月5日（日）に市内のスポーツ少年団や青少年育成会などの子どもたち193名がスポーツやレクリエーションで交流する「第17回鳥羽市子どもフェスティバル」が中央公園運動施設で開催されました。子どもたちは4班に分かれてドッジボール、グラウンドゴルフ、ニュースポーツ体験、フランス生まれの積み木「カブラ」を通じて学年や学校の枠を超えて楽しく交流しました。

発行 鳥羽市教育委員会

# 神島小・中学校 校舎が完成しました



## ～新校舎をご紹介します～



平成28年3月より建設工事に着手し、今年2月下旬に完成した神島小・中学校の新校舎をご紹介します。

新校舎は、塩害やメンテナンスを考慮した木造2階建てで、延べ床面積997.44m<sup>2</sup>（1階515.18m<sup>2</sup>、2階482.26m<sup>2</sup>）の建物です。

南海トラフの地震想定を受け、校舎は海拔21mにある敷地に建設し、さらに31mの避難場所へ通じる避難路を整備しました。

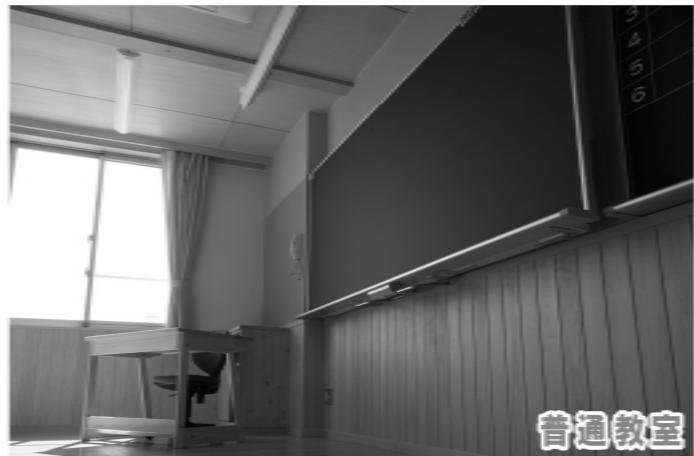
小学校と中学校がひとつの校舎を共有し、主に1階を小学校、2階を中学校として使用します。（特別教室や職員室等は共用）



制作室



図書室



普通教室



避難場所への階段



職員室

小学校の普通教室は、部屋を仕切り2部屋として使用することができ、複式学級などの利用形態に応じて使い分けることができます。

いよいよ4月からこの校舎で新しい学校生活が始まります。木の温かみのある校内では、随所に採光に配慮した吹き抜けを設けています。神島の小・中学生が自然のやわらかな光に溢れるこの新校舎でのびのびとした学校生活を送ってもらえることを期待しています。



### 普通教室の机やイスは子どもたちが組み立てました

「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を活用し、普通教室や特別教室に県産材を使った木製の机やイスを設置しています。児童・生徒用の机・イスについては、子どもたちが自ら組み立てを行いました。



スクールバスを運行しています



鳥羽市内では、かもめ幼稚園、鳥羽小学校、弘道小学校、鳥羽東中学校において、スクール（通園）バスの運行を行っています。



清水 豊 しみず ゆたか

島羽高等学校校長  
県立高校教諭  
特別支援学校と立  
事の後は単身赴任中の部屋でもうはら  
DVD鑑賞。週に2本観ること。

市民みんなで力を合わせ、鳥羽の教育を高めていきましょう。さまざまな分野の方にその熱い思いを語っていただきます。今回は、鳥羽高校校長の登場です。さあどうぞ！

地域学習や観光教育など様々な特色ある取組を推進しています。「地域研究」「鳥羽学」「観光と町づくり」「観光とパリアフリー」などの授業では、市観光課、商工会議所、観光協会、その他様々な地域関係者様のご協力を得て、「地域に学び、地域を学ぶ」授業を開催しています。また、地域研究サークルの「とほっこくらぶ」は市教委主催の地球塾にも参加して地域の方々と共に学び、活動しています。

平成29年度には、「デュアルシステム」がスタートします。デュアルシステムとは週二日、生徒がホテルや観光施設、福祉施設等の事業所に出向いて就労実習を行い、その結果を高校の単位として認定するものです。「これから地域社会を支える若者」を学校と地域が協力して育てる新たな取組のスタートです。

百年の伝統を誇る鳥羽高校も、地域の人口減、生徒減の中で一学年2クラス規模となり、学校存続をかけた活性化に取り組んでいます。地域とのつながりや観光教育は、そのような学校活性化の一環です。今後も地域に貢献できる人材づくりと学校づくりに取り組みます。地域の皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

## 地域に学び、地域を学ぶ

### 過去最高タイムでゴール！

教育委員会生涯学習課

**第10回**美し国三重市町対抗駅伝大会が2月19日（日）に開催されました。

コースは県庁前をスタートし、ゴールの三重交通Gスポーツの杜伊勢（県営総合競技場）までの10区間です。各区間には小学生から社会人までの幅広い層が参加する各市町の総力が結集された大会となっています。

鳥羽市も選手団を結成し、今大会に参加しました。鳥羽市チームは、12月から毎週末の練習会や試走等を実施するほか、各選手は独自の練習も積み重ね、大会に挑みました。

また、2月12日（日）には鳥羽市選手団結団式も行い、大会への志気を高めました。

大会では、2時間30分20秒の過去最高タイムでゴールし、順位は総合の部16位でした。



力走をみせる選手たち

土曜授業を実施します



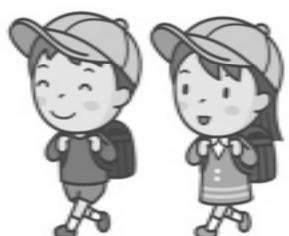
平成29年度は年間5回（1学期2回、2学期2回、3学期1回）、原則第3土曜日に実施します。＊実施予定月については、後日学校からお知らせします。

### 登下校の見守りをお願いします

教育委員会学校教育課

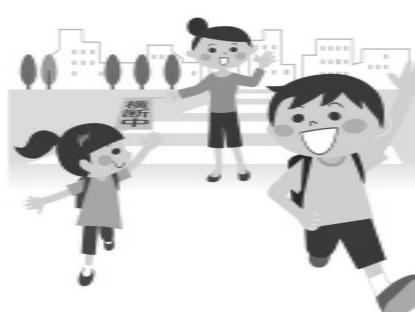
4月に入り、市内の小学校には約120名の新1年生が入学します。

子どもたちは、新しい環境に期待と不安を抱きながら、徒步や電車、バス、船などの公共交通機関を利用してそれぞれの小学校へ通学します。



また明治9年創立の桃取小学校が、惜しまれつつも今年3月をもって141年の長い歴史に幕を降ろし、鳥羽小学校へ統合となりました。桃取町の子どもたちは、住み慣れた島を離れ、定期船やスクールバスを乗り継ぐ通学が始まります。

小学校の多くには、地域の方がボランティアで子どもたちの登下校を見守る、スクールサポーターと呼ばれる仕組み等もありますが、より安心・安全な登下校のため、改めて地域の皆さんによる子どもたちの見守りをよろしくお願いいたします。



登下校のことや、スクールサポーターのことなどについては、各学校へお問い合わせください。

# 伝統文化“狂言”を継承する子どもたち

—鳥羽市能楽保存会 子ども狂言—

消えていった伝統文化を復活・継承しようと、平成18年に鳥羽で狂言が復活して12年目。4~17歳までの17人が、月3、4日の練習に励んでいます。賀多神社の春祭りや嘉隆祭り、夏休みの小学校などで、子ども狂言を公演すると、笑いと拍手が起こる程に上達しました。また、最近では市内外の祭りや記念行事にも招待され、大舞台でも熱演しています。意欲ある小中学生の皆さんの狂言への参加を期待しています。お問い合わせは 0599-25-3743（川村）まで。



子ども狂言の様子

## みんなで「朝の学習」 鏡浦小の取り組み

鏡浦小学校では全国学力・学習状況調査の結果から漢字の習得や計算力に課題がみられました。

「普段の授業ではできていたことも定着しておらず、家庭学習などでも復習が十分されていないのではないか…？」

そこで、基礎学力の定着に向け、今すぐできることとして“全校児童で取り組む「朝の学習」”を始めました。

各学級で毎日『本読み計算』を行っていた「朝の学習」のうち、週3日を全校体制で取り組む学習時間にしました。全校児童がランチルームに集まって、火曜日は視写、木曜日は漢字練習や漢字テスト、金曜日はプリント学習を行っています。

学級内だと少人数のため多少みられていた“甘さ”がなくなり、上級生は下級生の見本となるように、下級生は上級生をお手本に、緊張した雰囲気の中、10分間集中して学習しています。

先生も「チームかがみうら」という意識で、受け持つ学級に関係なく、より多くの目で子どもたちを見守っています。



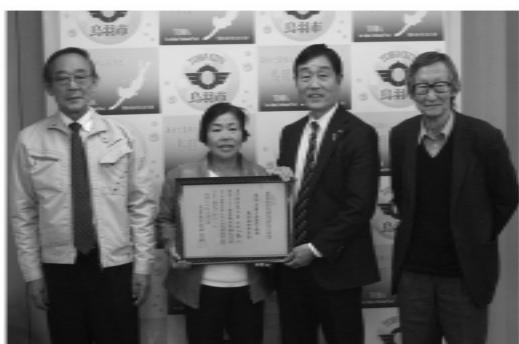
ランチルームで全校児童が集中して学習

## 文化財紹介 海女文化～鳥羽・志摩の海女漁の技術～

3月3日に「鳥羽・志摩の海女漁の技術」が、国の重要無形民俗文化財に指定されました。海女漁が国の指定文化財になるのは、全国でも初めてのことです、鳥羽市内では8件目の重要文化財になりました。

海女漁は鳥羽・志摩を代表する文化というだけでなく、素潜りにより自然と共生しながら漁をするその姿は世界的にも注目を集めています。

今回の指定によりユネスコ無形文化遺産への登録に向け、一步前進したことになります。



指定証書が交付されました

## 編集後記

「海の幸の宝庫、鳥羽市に住んでいたながら、あまり魚のことを知らない私ですが、数年前に離島で「コチの刺身」を食べて感動。鳥羽の魚の美味しさを再認識しました。春の観光シーズン、市外の方にもぜひ鳥羽の海に幸を味わっていただきたいと思う今日この頃です。



総務課  
寺本課長補佐

ご意見ご要望をお寄せ下さい → → →

鳥羽市教育委員会総務課 0599-25-1261 FAX 0599-25-1263  
E-mail kyouiku-soumu@city.toba.mie.jp お待ちしています。